

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月8日

事業ID:2023006281

事業名:CHANGE FOR THE BLUE in 岩手県(CFB・海と日本2023)

団体名:一般社団法人 ブルーオーシャン岩手

代表者名:代表理事 佐々木 伸郎 印

TEL:019-656-3300

事業完了日:2024年3月31日



■契約時

事業費総額	:	24,950,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	24,950,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	24,950,000 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	24,950,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.周知啓発
(1)時期:通年
(2)場所:岩手県内
(3)内容:
a.漫画「ゴルゴ13」連携施策
(a)啓発ごみ箱制作設置(三陸鉄道4駅、市営バス2停留所、イベント会場)
(b)鉄道及び市営バス車体への啓発ラッピング
b.盛岡・北上川ゴムボート川下り大会(参加者への周知啓発)
c.Ｊリーグチーム「いわてグルージャ盛岡」(選手との清掃、勉強会)

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.周知啓発
(1)時期:通年
(2)場所:岩手県内
(3)内容:
a.漫画「ゴルゴ13」連携施策
(a)啓発ごみ箱制作設置(三陸鉄道4駅、市営バス3停留所、イベント会場)
(b)鉄道及び市営バス車体への啓発ラッピング
b.盛岡・北上川ゴムボート川下り大会(参加者への周知徹底)>参加者と見物客約900人にごみ袋配布と会場内啓発アナウンス実施。
c.Ｊリーグチーム「いわてグルージャ盛岡」(選手との清掃、勉強会)>ホームゲーム13試合で1000枚平均でごみ袋配布。啓発ごみ箱、啓発バナーを制作・掲示。また、サッカー少年を対象にしたキャンプで勉強会とビーチクリーン実施。
サマーキャンプで海ごみゼロ活動 31名
いわてグルージャ盛岡ホームゲーム選手とのごみ拾い 14296名(13試合合計)



(3)成功したこととその要因

三陸鉄道と盛岡市内を走るバスへのラッピングで注目度は高かった。
出発式ではテレビ1社、新聞3社、WEB新聞1社の取材・掲載。
バスラッピングで盛岡市内へのポイ捨て禁止を啓発したことによりバス停まわりでのごみが減ったという報告もあり、またSNSで大きく伝播できた。
川下り実行委員会からは例年になく大会終了後のほうが北上川まわりのごみが減ったと大きな評価をうけた。川に対する意識の高い参加者へ
いわてグルージャ盛岡と昨年度から続くごみ拾いで継続的な関係値を築くことによりごみ拾いを計画以上の試合数で実施でサポーターにも根付いてきた。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

a漫画「ゴルゴ13」連携施策

(a)啓発ごみ箱設置三陸鉄道4駅(久慈、宮古、釜石、盛)、岩手県交通バス停2か所設置済。そのほか、4/15出発式、5/27キックオフイベント中継会場、9/16バスの日イベントにゴルゴ13ごみ箱展示。

(b)三陸鉄道車両と岩手県交通バスにゴルゴ13啓発メッセージラッピング施工済。

b.川下り大会で参加者824人に1組にごみ袋4枚配布、また見物客30人に配布。イベント会場での放置ごみは例年の1/10以下になったと実行委員会から報告あり。会場内での啓発アナウンスも10回以上放送。

b.北上川ゴムボート川下り会場にブースを出展し啓発、ごみ袋を配布大会終了時ごみ拾いを実施。

c.J3「いわてグルージャ盛岡」のホームゲーム13試合での選手・関係者・サポーターでの平均1000枚を超えるごみ袋配布とごみ拾い。

小中学生を対象として8月1日～3日で開催されたサマーキャンプ内での海ごみ学習会、翌日にはビーチクリーンを行って子供たちの理解を深めていた。

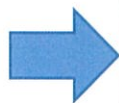
■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.調査
(1)時期:2023年5月~10月
(2)場所:宮古市
(3)内容:水産高校生及び漁業関係者と連携した浜のごみと海底ごみ調査

(2)事業内容の実施(完了)状況

2.調査
(1)時期:2023年5月~10月
海ごみ調査5月15日
地引網調査10月18日
※5月~10月にかけて分析
(2)場所:山田町・山田湾
(3)内容:宮古水産高校生と水産実習浜でごみの種類、重さをデータ化。10/18には浜のごみ調査に加えて地引網で魚種と重さをデータ化。
海底の映像撮影も実施。
参加人数:33名



(3)成功したこととその要因

宮古水産高校が専用に使っている山田湾入江で半年間を通して漂着ごみの分析・調査をすることにより問題点が少しずつ見えてきた。また高校生の意識も高まり自分たちで発信する意識がついた。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

5月15日 宮古水産高校生9人で山田湾実習浜(学校専用浜)で漂着ごみを拾い、種類・重さをデータ化。海底の映像も撮影。
10月16日 宮古水産高校生18人で山田湾実習浜(学校専用浜)で漂着ごみを拾い、種類・重さをデータ化。加えて地引網で魚類・重さもデータ化。海底映像も撮影。

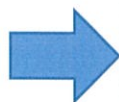
■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3.映像制作と放映
(1)時期:通年
(2)内容:海洋ごみを扱った10本以上の映像・1本の特番制作、放映

(2)事業内容の実施(完了)状況

3.映像制作と放映
(1)時期:通年
(2)内容:海洋ごみを扱った10本以上の映像・1本の特番制作、放映
年間12本映像制作、放映
(うち1本24分の特番制作、放映)



(3)成功したこととその要因

当初から計画的に映像撮影と放映を計画したため。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

テレビミニ番組6本、ニュース取材・放送5本、30分特別番組1本の制作・放送。

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

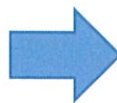
4.清掃活動
(1)時期:2023年5月~12月
(2)場所:岩手県内5カ所以上(16,500名以上)

5.スポGOMI甲子園
(1)時期:2023年7月~12月
(2)場所:岩手県内

(2)事業内容の実施(完了)状況

4.清掃活動
(1)時期:2023年5月~12月
(2)場所:岩手県内5カ所以上(16,500名以上)
参加人数:17,835名
イベント数:24回(ウィーク内6回)

5.スポGOMI甲子園
(1)時期:2023年6月10日
(2)場所:岩手県内(杜の住宅公園みらいえ・盛岡市中央公園周辺)
参加人数:36名(12チーム)



(3)成功したこととその要因

4.様々な団体(自治体・スポーツ団体・企業など)と協力連動して実施できた。
5.岩手エリア初開催ではあったが大会から代表決定までスムーズに作業できた。

(4)失敗したこととその要因

4特になし
5初の実施ということもあり高校への案内も告知もしたがチーム数集まりが悪かった。

(5)事業内容詳細

4.岩手県内の各エリア・イベントでゴミ拾いを実施
5. スポGOMI甲子園・2023・岩手県大会を実施。
3人1組のチームを結成した15~18歳の高校生を対象にした全国大会の切符をかけたエリア予選大会。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・清掃活動参加人数 :16,500名以上
- ・ゴルゴ13ごみ箱設置:三陸鉄道4駅、市営バス3停留所、イベント会場
- ・啓発ラッピング:三陸鉄道、市営バス
- ・調査による海底ごみの可視化

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	524	文字数チェック	OK
・清掃活動参加人数16,500名以上は17,835名参加(いわてグルージャ盛岡ホームゲームゴミ拾い活動も含む)海ごみゼロの啓発活動の幅を広げたので、より多くの人々に訴求できた。特に7/23の川下りイベントでは選手と見物客にごみ袋を配って場内アナウンスで啓発したところ、放置ごみは昨年の1/10以下に減ったとの報告があり。主催者から感謝され、是非来年もコラボしたい旨の話があった。			
・ゴルゴ13コラボごみ箱設置 三陸鉄道4駅 市営バス停留所3か所 各種イベント会場出張設置(イベント会場:5/15ラッピングバス出発式、5/27キックオフイベント会場、9/23バスの日イベント会場)			
・啓発ラッピング 三陸鉄道のラッピングに加え、今年度は盛岡市内を走るバスにラッピングを実施した。また5/15出発式にはテレビ1社のほかに新聞社3社が取材に来て、紙面・ウェブ記事として掲載してくれた。			
・調査による海底ごみの可視化 宮古水産高校の海岸ごみ拾い時に2回(5/15, 10/18)海中・海底の動画撮影を実施した。撮影者によると1回目と2回目の海底ごみの変化はなしとの報告を受けている。分析調査の結果をグラフ・写真などにしてCFB岩手ホームページ上で公開。			

3.事業実施によって得られた成果

・いわてグルージャ盛岡や各種自治体・イベントからも継続希望の声をいただき意識改革も含め大きな成果だと感じた。
・ゴルゴ13ラッピングバス運行によって盛岡市民を中心にポイ捨てをすることによって海が汚れてしまうという強いメッセージは伝わった。また多くの県外利用者や海外の観光客も岩手県交通から多くの反応があったと情報をいただいている。(運行情報を知りたいと問い合わせありなど)
・宮古水産高校と連動協力することにより分析資料を作成、漂流物や海底のごみの問題点を見つけることができた。2年通して調査・分析してきたが3年目の調査の結果をもとに盛岡市内での発表の場を設ける予定である。

海洋ごみ問題の啓発・削減を目的とした取り組み

動画12本 平均視聴率 3.6%、視聴者数91,230名、放送枠は土・日曜日の特B帯17時帯を中心に行った。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

1. 宮古水産高校との海岸でのごみ拾い、地引網のスケジュール調整が難航した。学校側のスケジュールがメインとならざるを得ないため何度も調整した。結果的には無事2回の企画は成立。対応策としては早めから頻繁に連絡を取って、かつ先生方に負担をかけないようにすることで、もっとスムーズに日程調整可能となると思われる。
2. スポGOMI甲子園の参加チームが12チームで想定よりも少なかった。初開催であること、学校側スケジュール(部活、テスト)がメインのために参加を躊躇した(数チームが参加表明も申し込みしなかった)と思われる。対応策は高校の平均的なスケジュールを確認して開催日程を決め、早めの募集開始と複数方式(WEB、FAX併用)の申し込み方法、そして直接プロモートの高校数を増やすことで解決できると思われる。
3. 岩手県内の自治体・企業・スポーツ団体・学校と単体では連動協力できているが、各団体をつなぐ活動・事業ができなかった。今後は各団体をつなぎ連動した事業を実現する。また、沿岸と内陸での情報共有によりさらにより良いアイデア・海ごみゼロ運動ができる県とする。

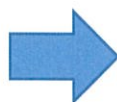
5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

・報告書
・オリジナルごみ箱、啓発パネル

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書
オリジナルごみ箱(ゴルゴ13ごみ箱)3個
啓発ミニパネル(グルージャ盛岡)3枚
啓発バナー(グルージャ盛岡)2枚
啓発バナー(川下り大会)1枚



(3)未作成となった要因

なし

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

なし

2023年度 収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:%)

団体名: 一般社団法人ブルーオーシャン岩手

契約書(記3)に記載の補助率

100

事業名: CHANGE FOR THE BLUE in 岩手県(CFB・海と日本2023)

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	24,950,000	24,950,000	24,950,000	0	0
② 自己負担	0	0	0		
③ 収入合計	24,950,000	24,950,000	24,950,000	0	0

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
事務局運営費	3,500,000	3,500,000	3,500,000		
事業広報費	1,240,000	1,240,000	1,240,000		
委託費	220,000	220,000	220,000		
運営費	1,608,000	1,608,000	1,608,000		
企画制作費	3,012,900	3,078,900	3,078,900		
会場費	354,000	354,000	354,000		
会場設営費	956,000	890,000	890,000		
動画制作費	3,003,000	3,003,000	3,003,000		
著作権使用料	6,600,000	6,600,000	6,600,000		
消耗什器備品費	367,000	367,000	367,000		
賃借料	3,417,400	3,417,400	3,417,400		
印刷製本費	220,000	220,000	220,000		
通信運搬費	29,700	29,700	29,700		
臨時雇用費	236,000	236,000	236,000		
諸謝金	66,000	66,000	66,000		
雑費	120,000	120,000	120,000		
支出合計(端数調整前)	24,950,000				
端数調整欄	-				
④ 支出合計(端数調整後)	24,950,000	24,950,000	24,950,000	0	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生
無し

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力間違いの可能性があるので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計 = 予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計 = 決算額(y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計 - 助成金返還見込額 = 支出済額(z) + 未払額④支出合計	OK

セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

① (収入の部)の予算額(A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。

② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と (支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。

③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。